

言語聴覚士 資料

地域に根ざした言語聴覚士として

“マンツーマン” や “機能訓練” という枠にとらわれず

その方のコミュニケーションの幅を拡げていけるよう支援していきます

※当法人の言語聴覚士の役割とは※

家族や知人との当たり前のコミュニケーションや、美味しく安全に食事を楽しむなど、その人らしく生活を続けられるようにリハビリを提供し、サポートしていくことだと考え、日々患者様と関わらせていただいています

※当法人内での言語聴覚士の関わり※

① 外来

- ・ 個別訓練（40分～60分）
- ・ 集団コミュニケーション療法（現在は軽度の失語症グループ）

② 訪問

- ・ 個別訓練（40分～60分）

③ 通所リハビリテーション施設

- ・ 短時間通所リハビリ（週1回（15時40分～17時00分）ST 滞在し、言語訓練実施）
- ・ ST が滞在していない当法人内の通所施設では、必要に応じ利用者さまの評価、職員に向けたアドバイスを実施

④ 外部に向けた活動

- ・ 勉強会、症例発表等の開催
- ・ 高次脳機能障害者を中心とした家族会



※外来 ST の患者様の特徴※

外来にて言語聴覚療法を受ける患者様は、発症から1年～3年の方が約30%、3年～5年以上の方が40%を占めております。

生活期の患者様が次のステップへと歩みを進めていけるよう、地域のSTとして継続的なリハビリの提供と、介護施設等との連携を図っています。

当院にいらっしゃる患者様の5割は失語症の方です。ゆっくりとした経過をたどりますが、年単位で改善し、精神的な安定を取り戻していく患者様との関わりには、STとしてのやりがいを感じます。



※訪問 ST の患者様の特徴※

訪問にて言語聴覚療法を受ける患者様は、発症から3年以上の方がほとんどです。

訪問では、約40%の方が進行性の疾患の患者様で、構音障害・嚥下障害の患者様が多くいらっしゃいます。

日常生活において安全に楽しく過ごしていただくために、機能訓練以外にも環境調整など、より生活に近いリハビリ・支援を行っています。

※職員について※

涓泉会の ST は常勤が3名、非常勤が2名です。

常勤の業務内容は、1名外来専属、1名外来・訪問の兼務、1名外来・訪問・通所リハビリの兼務となっています。

兼務する場合には多角的な臨床経験を積むことが出来、専門職としての成長が期待されます。外来の言語聴覚療法から患者様へ次のステップを考える際には、涓泉会内の通所サービスをお勧めする場合があります。顔と顔が見える関係であるため、それぞれの施設で働く、ケアスタッフや他リハビリ職員に患者様のことを理解していただきながら、他施設へ一歩踏み出すことができます。



見学を希望される皆様へ

山王リハビリクリニック、山王リハビリ訪問看護ステーションで勤務しております、言語聴覚士の佐藤です。

この度は、当院求人をご覧いただきありがとうございます。

私たち ST は、患者様おひとりおひとりに、楽しく、充実した生活を過ごしていただける様、言語聴覚士という立場から支援できる事を考え取り組んでいます。

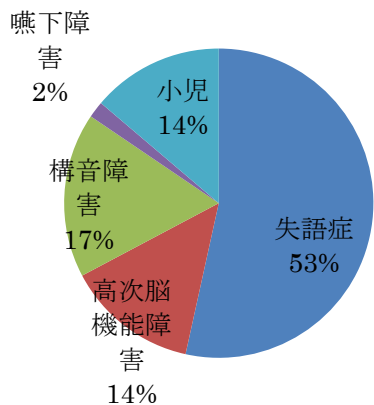
職員同士が協力しながら新しいことに挑戦し、常に進化していきたい！と考え、理解し合い、助け合いながら、よりよいサービスを提供し、働き続けることのできる職場にしたいと思っています。施設見学など大歓迎です。是非一度いらして下さい！！



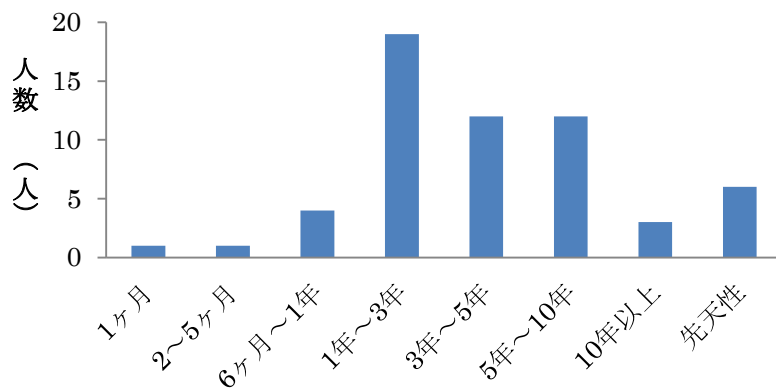
資料：対象患者様の内訳

【山王リハビリ・クリニック】

外来・障害別割合
(2015.8月現在)

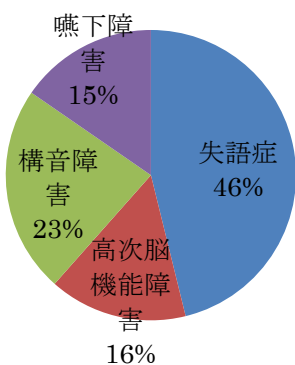


外来・発症からの経過
(2015.8月現在)



【山王リハビリ訪問看護ステーション】

訪問・障害別割合
(2008.8月現在)



訪問・発症からの経過
(2015.8月現在)

